

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	工作実習Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	0035		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	機械工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	4		
教科書/教材	配布プリント					
担当教員	塚本 公秀					
到達目標						
各種工作法の基礎実技習得を通して、理論と実際の対比、原理・原則に基づく仕組みの体得、応用力・判断力・総合力の養成を図り、あわせて安全作業の重要性を説明し、実践できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1			各実習内容の目的を理解し、指導された方法で実習に取り組むことができる。		各実習内容の目的を理解できず、指導された方法においても実習に取り組むことができない。	
評価項目2	実習で使用する工作機械や工具を応用し、創造性に富んだものづくりをすることができる。		実習で使用する工作機械や工具の原理や使用方法を理解し、指導された方法で装置を使用することができる。		実習で使用する工作機械や工具やの原理や使用方法を理解できず、指導された方法においても装置を使用することができない。	
評価項目3	グループワークでリーダーシップを取ることができる。		他者と協力・協調してグループで実習に取り組むことができる。		他者と協力・協調しながらのグループワークができない。	
	計画的に報告書を作成し、余裕を持って報告書を提出することができる。		報告書を提出期限内に提出することができる。		報告書を提出期限内に提出することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 3-c 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 4-a						
教育方法等						
概要	座学の機械工作法で学習した理論と本科目での実践との有機的結合により、加工方法の原理や適切な材料選択および工作機械の運動について理解が深まり、実際の生産現場に適応できる技能能力が養成される。実用車の分解組み立てを通して機械工学の専門科目の学習内容に触れる。					
授業の進め方・方法	実習テーマの終了時に、担当者から実習レポートの提出の指示があるので、指示された日時までに必ず提出すること。また、報告書作成のために実習内容や実習手順等を実習ノートにメモしておくこと。					
注意点	実習心得を守り安全に作業すること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	機械加工		鋼とアルミの切削条件について理解し、説明できる。	
		2週	機械加工		高速度鋼および超硬バイトの種類・形状について理解し、説明できる。	
		3週	機械加工		旋盤の穴あけ・穴ぐり・めねじ切り作業について把握し、実践できる。	
		4週	機械加工		位置の計算とけがき作業について把握し、実践できる。	
		5週	機械加工		立てフライス盤の切削工具選定について理解し、説明できる。	
		6週	機械加工		立てフライス盤の操作について把握し、実践できる。	
		7週	機械加工		立てフライス盤の平面削り・溝削り・段削りの作業を把握し、実践できる。	
		8週	NC旋盤加工		NC（数値制御）の概要と特徴を理解し、説明できる。	
	2ndQ	9週	NC旋盤加工		NC（数値制御）の概要と特徴を理解し、説明できる。	
		10週	NC旋盤加工		加工プログラミングを把握し、実践できる。	
		11週	NC旋盤加工		加工プログラミングを把握し、実践できる。	
		12週	NC旋盤加工		加工プログラミングを把握し、実践できる。	
		13週	NC旋盤加工		CAD/CAMの操作法について把握し、実践できる。	
		14週	NC旋盤加工		CNC旋盤の操作を把握し、実践できる。	
		15週	溶接加工		シールドガスアーク溶接を把握し、実践できる。	
		16週	溶接加工		シールドガスアーク溶接を把握し、実践できる。	
後期	3rdQ	1週	溶接加工		シールドガスアーク溶接を把握し、実践できる。	
		2週	溶接加工		被覆アーク溶接作業について把握し、実践できる。	
		3週	溶接加工		被覆アーク溶接作業について把握し、実践できる。	
		4週	熱処理		焼入れ作業を把握し、実践できる。	
		5週	熱処理		焼戻し作業を把握し、実践できる。	
		6週	熱処理		硬さ試験及び引張り試験を把握し、実践できる。	
		7週	熱処理		硬さ試験及び引張り試験を把握し、実践できる。	
		8週	車両の分解組立		実用機械の部品の観察し加工方法を理解し、説明できる。	
	4thQ	9週	車両の分解組立		実用機械の部品の観察し加工方法を理解し、説明できる。	

		10週	車両の分解組立	工具の正しい使用方法を習得する。四輪バギーの分解・組立作業の作業工程・工具の使用方法を理解し、実践できる。
		11週	車両の分解組立	工具の正しい使用方法を習得する。四輪バギーの分解・組立作業の作業工程・工具の使用方法を理解し、実践できる。
		12週	車両の分解組立	工具の正しい使用方法を習得する。四輪バギーの分解・組立作業の作業工程・工具の使用方法を理解し、実践できる。
		13週	車両の分解組立	四輪車の操舵機構・動作原理を理解し、説明できる。
		14週	車両の分解組立	四輪車の操舵機構・動作原理を理解し、説明できる。
		15週	工作機械の清掃整備	工作機械の清掃整備が他と協力してできる。
		16週	レポート作成	レポートの作成と提出

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	20	0	0	30	50	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	20	0	0	30	50	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0